

Point 1



強力なバッテリーを搭載!
フル充電ならばエンジンを5~6回始動できる、強力なリチウムイオンバッテリーを搭載。

Point 2



接続の間違いを防ぐ安全対策
ケーブルを接続する穴の大きさをプラスとマイナスで変更。ケーブルの長さも変えるなど安全性にもこだわっている。

Point 3



DC電源でも充電できる
AC電源だけでなく、クルマのシガーライタープラグからも充電可能。車内に常備しておくこともできる。



サイズは長さ約248mm×直径約65mm。重さは約750g。家庭用AV電源なら5~8時間で充電できる。価格は2000ccまでのガソリン車(バッテリー性能ランク55まで)に対応する「ライフライン2000」が2万3800円、3000ccまでの「ライフライン3000」が2万6800円。

バッテリー上がりでも安心! 電源が取れるLED懐中電灯

プロテクタ
レスキューライト LIFE LINE

2万3800円~
●プロテクタ ☎0564-65-8410
<http://www.pro-tecta.com/>

Photo / 若林良次

Pickup! New Trend

注目の最新カーグッズを詳細レポート

割安な価格設定も魅力 バイクや車中泊にも!

アクシデントは突然に襲ってくる。昨日まで快調に走っていた愛車が、今朝はエンジンがかからない。バッテリーの電圧が低下してしまった。ルームライトのつけっぱなし? それともハザード? 巷で噂のバッテリーの突然死? JAFのロードサービスを呼べば安心だが、出勤までに時間がない。さあ大変だ! そんな方が一のときに役立つアイテムがある。

主にカーセキユリテイ製品の開発や販売を行っているプロテクタから発売された「ライフライン」は、クルマのエンジンスタートに利用できる懐中電灯。携帯電話の約80倍となる10・8ボルトのリチウムイオンバッテリーが内蔵されていて、フル充電ならエンジンを5~6回始動できる。重さは約750gで、女性でも無理なく持ち歩けるのも特徴だ。

使い方は、懐中電灯にワニ口ケーブルをつなぎ、クルマのバッテリーに接続。懐中電灯の電源ボタンを長押しすれば、懐中電灯からバッテリーへ電気が送られる。ケーブルのプラスとマイナスを間違えて接続しないように、本体とケーブルを接続する穴の大きさをプラスとマイナスで変えたり、ケーブルの長さを変更。ショートを防ぐ工夫

もされている。

さらにさまざまな機器の電源としても利用可能。USB端子を設けてあり、各種の接続コネクタも付属しているの、携帯電話やスマホ、タブレット端末へも充電ができる。家庭用のAC電源だけでなく、クルマのシガーライタープラグ(DC電源)からも充電できるので、車内に置いておくと心強いサポーターアイテムになるだろう。AC電源、DC電源のいずれも5~8時間でフル充電できる。同社によると、今後は小型化や低コスト化を進め、無理のない車内設置を目指すという。LEDライトだけなら最大24時間連続点灯できるので、災害時にも役立つ。バイクのオーナーや車中泊を楽しむ人にもおすすめのアイテムだ。

Point 4

USB電源出力を装備

いろいろな機器の電源としても利用できるように、USB電源出力を装備。携帯電話やスマホ対応の各種のコネクタに加え、マイクロUSBのコネクタも標準装備する。

